

八ヶ岳に住む生き物・ぬり絵図鑑

アズマヒキガエル



体の大きさはオスよりもメスの方が大きい

卵はゼリーみたいなものに包まれている。孵化したオタマジャクシはこれを食べて育つよ。

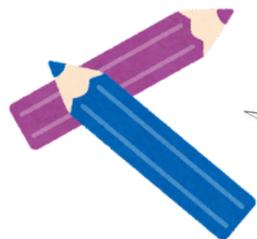


生まれたてのオタマジャクシは 5 ミリ程。2年で 10 cm くらいになって、メスが卵を産めるまでには 3 年もかかるよ。



＊ ＊ アズマヒキガエル ＊ ＊
体長 6～18 センチ。山陰地方北部から島根県東部、近畿地方、東北までに生息。自然の中では寿命の長いもので 15 年、人が飼育したものでは 36 年の記録があります。体の大きいものほど行動範囲が狭く、1 か所でのんびり暮らしています。ほとんど土の中で寝て過ごし、夜になると 3 時間ほど食事をしに出てきて主に昆虫などを食べます。卵は一度に 2 千個から 2 万個も産みます。他のカエルと違って小さいうちに変態(オタマジャクシからカエルになるための体の変化)してカエルになる。変態したての大きさは 1 cm くらい！とても小さい！
そして、生き残れるのはなんと！1 万匹に一匹？ 多くは魚や鳥やヘビ、水生昆虫などに食べられてしまうけれど、他の沢山の生き物達の命を支える役割も果たしています。冬は冬眠して、また春になると水場へ来て沢山の卵を産みます。これがアズマヒキガエルの一年の暮らし方です。

ヒキガエルは大人になると菌や細菌から身を守るために耳のうしろや体の表面から毒を出します。



天敵が少ないのでのんびり暮らして長生きです。

